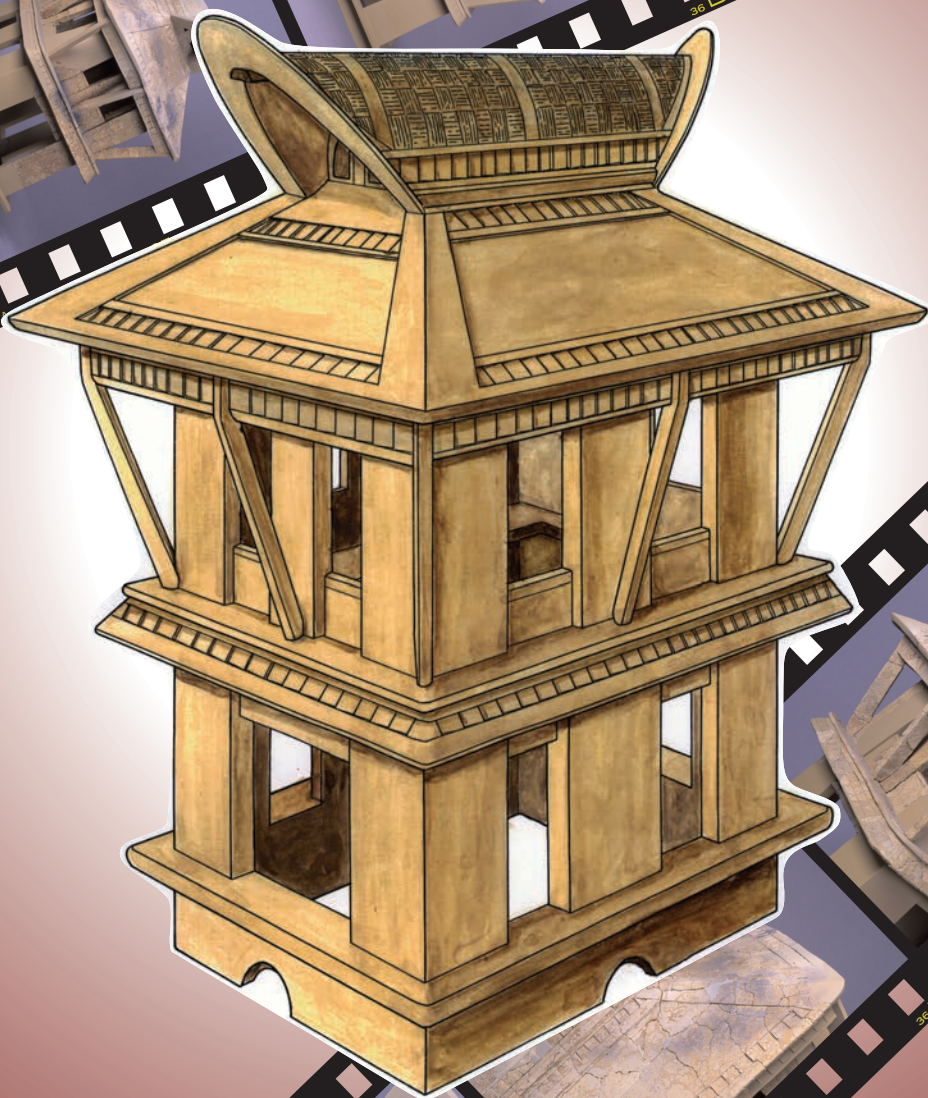


平成14年度京都府内遺跡発掘調査成果速報

第20回

# 小土古展覧会



日時：平成15年8月15日(金)～31日(日)

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター  
後援 京都府教育委員会 協賛 向日市文化資料館





## 展覧会開催にあたって

当調査研究センターでは、2002年度に37件の発掘調査を行いました。今回の展覧会では、そのなかでもとくに注目された調査10件をとりあげ、京都府内の各関係機関の発掘成果18件と合わせて展示することといたしました。

この展覧会の目的は、冒頭で述べましたように、前年度に京都府内で行われた発掘調査の成果を出土遺物や写真などによって紹介し、合わせて一般の方々に埋蔵文化財への理解を深めていただくことにありますが、そのためにも、よりわかりやすく、親しみやすい展示を心がけたつもりです。

今回の展覧会に後援をいただいた京都府教育委員会をはじめ、協賛をいただいた向日市文化資料館、いろいろとご協力賜った各関係機関に対し、深く感謝します。

2003年8月

財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター  
理事長 上田正昭



- |                |              |            |
|----------------|--------------|------------|
| 1. イリ遺跡        |              |            |
| 2. 大垣・一の宮遺跡    |              |            |
| 3. 慈観寺跡        |              |            |
| 4. 向野古墳群       |              |            |
| 5. 水内東古墳       |              |            |
| 6. 観音寺遺跡       |              |            |
| 7. 久田山古墳群      | 15. 開田遺跡     |            |
| 8. 新堂池古墳群      | 16. 土辺古墳     |            |
| 9. 池上遺跡        | 17. 山崎院跡     |            |
| 10. 法蔵寺鳴滝乾山窯跡  | 18. 久保川遺跡    | 23. 宇治市街遺跡 |
| 11. 京都大学病院構内遺跡 | 19. 佐山遺跡     | 24. 芝山遺跡   |
| 12. 宝菩提院廃寺     | 20. ヒル塚古墳    | 25. 石橋瓦窯跡  |
| 13. 鶏冠井遺跡・長岡京跡 | 21. 上津屋遺跡    | 26. 棕ノ木遺跡  |
| 14. 神足遺跡       | 22. 女谷・荒坂横穴群 | 27. 上狛西遺跡  |
|                |              | 28. 恭仁宮跡   |

—表紙解説— 乙訓郡大山崎町字円明寺しもうえのみなみの下植野南遺跡つつべの調査で見つかった土辺古墳から出土した、高さ約1mの大型の家形埴輪で、屋根や建物の各部に立体的な文様が精巧に表現されています。軒先に下がる垂幕や軒を支える方杖は、この埴輪の復原作業によって初めて具体的な構造を知ることができました。高床か二階建ての祭殿を模したものと思われ、古墳時代前期の家形埴輪の全容を知ることのできる貴重な資料といえます。



# 遺跡あらかると — 丹後 —

いり  
【イリ遺跡】 竹野郡丹後町竹野字イリ  
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

日本海に面する丘陵上に立地しており、同じ丘陵には古墳時代後期の大成古墳群が分布します。2基の横穴式石室墳を調査したところ、そのうちの1基の墳丘上段から外護列石が分かりました。また、古墳周辺の狭い平坦面からは、平安時代後期の掘立柱建物跡が1棟見つかりました。



じかんじ  
【慈観寺跡】 与謝郡野田川町石川善房寺  
野田川町教育委員会調査

古寺の伝承が残る地区で調査したところ、寺院関連の遺構や遺物が見つかりました。この中で、石敷遺構は幅2 m弱で、鍵手状に広がり、礎石を伴うことから、お堂の周りをめぐっていたものとみられます。鎌倉時代前期と考えられ、丹後地域における中世の寺の構造を知るうえで貴重な成果となりました。



おおがき・いちのみや  
【大垣・一の宮遺跡】 宮津市大垣字大聖院・池の本  
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

日本三景のひとつ天橋立を望む平野部に広がる中世の集落跡で、道路沿いの狭い調査地から、中国製の青磁・白磁や箸などの木製品・漆器が多量に出土しました。見つかった遺構から、雪舟作の国宝「天橋立図」に描かれた、丹後一宮籠神社付近の土地利用の変遷のようすがわかりました。



## 主な展示資料 — イリ遺跡 —



土師器碗



須恵器碗



瓦器・青磁



# 遺跡あらかると —丹波(1)—



みずうちひがし  
【水内東古墳】 福知山市堀水内

福知山市教育委員会調査

直径10mの円墳である1号墳を調査した結果、古墳時代中期末～後期初頭に築かれた2つの埋葬施設が見つかりました。いずれも木棺を直葬するもので、割竹形木棺が用いられた後、その横に、小口に粘土塊を置き、土器を転用した枕を伴う組合式箱形木棺が造られており、古墳が築かれた様子がわかりました。



むかいの  
【向野古墳群】 福知山市南羽合

福知山市教育委員会調査

弘法川の右岸丘陵上に立地する36基からなる古墳群のうち、22・28号墳の調査が行われました。いずれもやや大きな円墳で、3～4mの長さの組合式木棺が直葬されています。棺内外から武器・工具・馬具などの鉄器類や須恵器が多数出土しており、6世紀後半に築造されたものとみられます。



かんのんじ  
【観音寺遺跡】 福知山市観音寺

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

由良川中流域にある、弥生時代中期～中世にかけての大規模な集落遺跡として古くから知られています。昨年の調査で、縄文時代晩期の深鉢、弥生～古墳時代の竪穴式住居跡、中世の掘立柱建物跡や集石など多数の遺構・遺物が見つかりました。セミを表現したと思われる弥生中期の土製品は、大変珍しいものです。

## 主な展示資料 —観音寺遺跡—



縄文土器深鉢



弥生土器



セミ形土製品



# 遺跡あらかると — 丹波(2) —

きゅうたやま  
【久田山古墳群】 綾部市里町・味方町

綾部市教育委員会調査

由良川を眼下に望む丘陵上に立地するK支群を調査したところ、弥生時代終末期～古墳時代前期の方形台状墓および方墳3基と5世紀後半の円墳1基が確認されました。このうちK5号墳は、長辺22mの長方形墳で、割竹形木棺を納めた規模の大きな墓壇をもち、棺内からは、この地域では珍しい銅鏃が出土しました。



いけがみ  
【池上遺跡】 船井郡八木町池上

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

亀岡盆地を貫く桂川の東岸にある、旧石器～近世の複合遺跡です。これまでの調査で、弥生時代の竪穴式住居跡・方形周溝墓、古墳時代の竪穴式住居跡・土坑、奈良～平安時代の掘立柱建物跡などがみつかっています。遺物も、土器をはじめ、石器・玉類などが多量に出土しており、亀岡盆地上流域の拠点集落と考えられます。



しんどういけ  
【新堂池古墳群】 船井郡園部町新堂字天野

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

22基の古墳からなる新堂池古墳群のうち、4基の古墳を調査しました。2基は方墳で木棺直葬墳、2基は円墳で横穴式石室墳で、それぞれの古墳から須恵器や鉄鏃などの鉄製品が出土しました。このうち1号墳の横穴式石室は「L」字形をした特異な平面形をしており、築造時期は、6世紀中頃と思われます。



## 主な展示資料 — 新堂池古墳群 —



鉄鏃



須恵器有蓋高杯



須恵器杯・杯蓋



# 遺跡あらかると —山城(1)—



ほうぞうじなるたきけんざん  
**【法蔵寺鳴滝乾山窯跡】** 京都市右京区鳴滝泉谷町  
 法蔵寺鳴滝乾山窯址調査団調査

初期の京焼を代表する尾形深省(乾山)が元禄12(1699)年から13年間操業していた窯場の推定地を平成12年から調査しました。その結果、窯本体は見つからなかったものの、窯壁片や乾山焼未成品・窯道具などが製品(陶片・磁器片・素焼片)に混じって出土し、その所在がほぼ確実になりました。

きょうとだいがくびょういんこうない  
**【京都大学病院構内遺跡】** 京都市左京区聖護院河原町  
 京都大学埋蔵文化財研究センター調査

京大病院の南半は、聖護院村の北辺にあたり、江戸時代には、多数の文人が居を構えたことが知られています。歌人大田垣蓮月は、「蓮月焼」をこの地で焼いており、酷似した良齊銘の焼物が多数出土しました。また、乾山銘の陶磁器片とともに陶磁器生産に関わる資料が出土し、付近に二代乾山の工房の存在が指摘されています。



ほうはだいいん  
**【宝菩提院廃寺】** 向日市寺戸町西垣内  
 (財)向日市埋蔵文化財センター調査

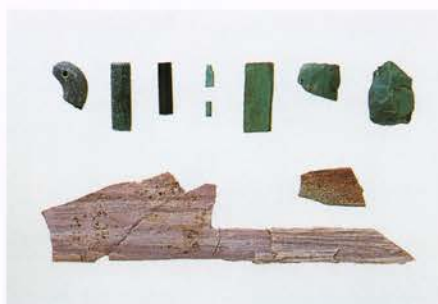
古代の寺院跡から、西暦900年頃に造られた風呂のルーツにあたる湯屋遺構が見つかりました。この頃の湯屋は、僧侶が仏教儀式の前に湯で身を洗い清めるための施設です。その構造から大釜の周りに石を敷き、その上に置かれた木の湯舟にお湯を移し、そこから湯をくみ出して浴びたものと考えられます。



## 主な展示資料 —池上遺跡—



弥生土器



玉製作関連遺物



石器



# 遺跡あらかると —山城(2)—

## 【<sup>かいで</sup>鶏冠井遺跡・<sup>ながおきょう</sup>長岡京跡】 向日市鶏冠井町馬司

(財)向日市埋蔵文化財センター調査

鶏冠井遺跡は、近畿地方最古の銅鐸鑄型が出土したことで有名な弥生時代の集落遺跡です。今回の調査では、弥生時代前期の方形周溝墓が見つかり、周囲から縄文時代の石棒と弥生時代の石剣が見つかりました。また、上層では、長岡京条坊の東西南北の大路跡の交差点が見つかりています。



## 【<sup>かいでん</sup>開田遺跡】 長岡京市開田4丁目

(財)長岡京市埋蔵文化財センター調査

開田遺跡は、旧石器時代から近世に至る複合遺跡です。今回の調査では、流路跡が見つかり、後期旧石器時代と縄文時代後・晩期の遺物が多数出土しました。旧石器時代の遺物としては、ナイフ形石器や縦長剥片が、縄文時代の遺物としては、多数の縄文土器片と石皿・磨石・石斧・石鏃などの石器類が見つかりています。



## 【<sup>こうたり</sup>神足遺跡】 長岡京市東神足1丁目

(財)長岡京市埋蔵文化財センター調査

神足遺跡は、乙訓地域最大の弥生時代の集落跡です。これまでの調査で多数の竪穴式住居跡と方形周溝墓が見つかり、今回、はじめて居住域と、墓域を区画する環濠が見つかりました。環濠の中からは、多数の弥生土器や石器に混じって、岡山県を中心に分布する分銅形土製品が、山城地域ではじめて出土しました。



## 主な展示資料 — 神足遺跡 —



分銅形土製品



石庖丁



石鏃



# 遺跡あらかると —山城(3)—



こうづや  
【上津屋遺跡】 八幡市上津屋

八幡市教育委員会調査

木津川左岸の自然堤防上にある上津屋遺跡では、平安時代から室町時代にかけての集落跡が見つかりました。鎌倉時代には、現在の条里地割に一致する一町四方の広がりをもつ環濠屋敷が築かれたようで、屋敷を囲む溝や、井戸内から太刀の飾り金具をはじめ多数の土器などの生活用具が出土しました。



やまごきいん  
【山崎院跡】 乙訓郡大山崎町大山崎

大山崎町教育委員会調査

山崎院は天平3(731)年に僧行基によって建立されました。平成11年の調査で、9世紀前半に焼け落ちたとみられる、瓦類や塑像・壁体片が焦土に混じって多数出土しました。壁体片には彩色を施したものがあり、自然科学による分析結果をもとに唐草文を描いた彩色壁画が復原されました。



おんなだに・あらかさか  
【女谷・荒坂横穴群】 八幡市美濃山字御毛通

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

竹林の広がる八幡丘陵に分布する府内最大級の横穴群で、これまでに総数50基近くの横穴の調査を行っています。昨年調査した女谷横穴B支群では、埋葬された人骨と共に土器などの副葬品が見つっています。2つの横穴群の調査は、当時の葬送儀礼や地域の集団関係を知るうえで大きな手がかりになるものと思われます。

## 主な展示資料 —女谷・荒坂横穴群—



金環



鉄製刀装具



須恵器横瓶



# 遺跡あらかると —山城(4)—

うじしがい  
【宇治市街遺跡】 宇治市宇治里尻・妙楽  
宇治市教育委員会調査

宇治市街遺跡は、古くから町屋として栄えた宇治郷に関わる遺跡です。JR宇治駅前の調査では、平安～室町時代にかけての家屋の柱跡、邸宅の池跡、井戸跡などが見付き、土器などが多数出土しました。調査の結果、町原形は平安時代にさかのぼり、最初は基盤の目状の町割りがあったこともわかりました。



いしばし  
【石橋瓦窯跡】 井手町井手字石橋  
井手町教育委員会調査

南都七大寺の一つ大安寺の創建瓦を焼いた窯跡が発見されました。見つかったのは、窯本体2基と排水溝、灰原などですが、さらに遺跡は広がるものと思われます。この瓦窯跡については、天平19(747)年成立の『大安寺伽藍縁起并流記資財帳』に記された「棚倉瓦屋」に相当するとの興味深い見解が示されています。



しばやま  
【芝山遺跡】 城陽市富野上ノ芝  
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

木津川右岸の丘陵先端部に広がる複合遺跡で、昨年の調査では、墳丘を削られた古墳や古墳時代の竪穴式住居跡、奈良～平安時代の掘立柱建物跡群が見つかっています。古墳は周濠が残るのみですが、一辺17mの方墳で、円筒や形象埴輪片のほか、須恵器類が多数出土しました。築造時期は、5世紀後半頃と考えられます。



## 主な展示資料 —芝山遺跡—



滑石製紡錘車



円筒埴輪



土師器壺



# 遺跡あらかると —山城(5)—

むくのき  
【**棕ノ木遺跡**】 相楽郡精華町下狛字神ノ木  
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

木津川左岸の自然堤防上に立地する集落遺跡で、縄文時代～中世に至る遺構や遺物が見つっています。特に中世においては、山城地域を代表する集落跡として知られています。今回の調査では、弥生時代後期の大規模な溝や、須恵器がまとまって出土した古墳時代中期の古墳に伴うものと思われる溝が見つっています。



くにきゅう  
【**恭仁宮跡**】 相楽郡加茂町例幣

京都府教育委員会調査

恭仁宮跡の調査は、昭和48年度から実施され、平成14年度で30年目の調査を迎えました。前年度に引き続き内裏東地区の調査が実施され、東辺の築地塀と南東隅部の築地塀の屈曲部が検出されました。この結果、内裏東地区が、北辺のみ掘立塀で、残りの三辺が築地塀で区画された特別な施設であることが明らかになりました。



かみこまし  
【**上狛西遺跡**】 相楽郡山城町上狛字中井戸

山城町教育委員会調査

木津川右岸の自然堤防上から、弥生時代中期末～後期にかけての集落跡が見つかりました。狭い調査地内から、円形や方形の竪穴式住居跡が重なって15基以上見つかり、長い期間、安定したムラがあったことが想定されます。火災した住居跡も見つかり、炭化した屋根材や屋根の上に塗った土、弥生土器などが出土しました。



## 主な展示資料 —棕ノ木遺跡—



弥生土器



須恵器有蓋高杯



須恵器甕



# 展示リスト

遺跡名	遺物名	点数	時代	保管者
イリ遺跡	土師器	3	平安時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	須恵器	1	"	"
	青磁	1	"	"
大垣・一の宮遺跡	土師器	2	鎌倉～室町時代	"
	木器・漆器	10	"	"
	青磁	3	宋代	"
	開元通寶	1	唐代	"
向野古墳群	鉄鏃	19	古墳時代	福知山市教育委員会
	鉄刀子	1	"	"
	鉄製馬具	6	"	"
水内東古墳	須恵器	9	"	"
	土師器	1	"	"
久田山古墳群	須恵器	1	"	綾部市教育委員会
	土師器	4	"	"
	玉類	7	"	"
	銅鏃	2	"	"
	鉄斧	1	"	"
	縄文土器	1	縄文時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
観音寺遺跡	弥生土器	8	弥生時代	"
	石器類	5	"	"
	磨製石斧	1	"	"
	土製品	5	"	"
	須恵器	9	古墳時代	"
新堂池古墳群	鉄製品	17	"	"
	弥生土器	21	弥生時代	"
池上遺跡	玉関連遺物	一括	"	"
	磨製石器	一括	"	"
	軒瓦	3	飛鳥～鎌倉時代	(財)向日市埋蔵文化財センター
宝菩提院廃寺	施釉陶器	12	奈良～平安時代	"
	土師器	一括	鎌倉時代	"
	縄文土器	1	縄文時代	"
	石棒	1	"	"
鶏冠井遺跡・長岡京跡左京473次	弥生土器	2	弥生時代	"
	石剣	1	"	"
	土師器	5	平安時代	"
	須恵器	2	"	"
	墨書土器	1	"	"
	墨書土馬	1	"	"
	分銅形土製品	1	弥生時代	長岡京市教育委員会
	石器類	13	"	"
開田遺跡	旧石器	3	旧石器時代	"
	縄文土器	10	縄文時代	"
	石器類	7	"	"
山崎院跡	塑像片	8	平安時代	大山崎町教育委員会
	埴仏片	7	"	"
	文字陰刻瓦	5	"	"
	軒丸瓦	3	"	"
	まじない石	1	"	"
久保川遺跡 土辺古墳	家形埴輪	1	古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター



遺跡名	遺物名	点数	時代	保管者
法蔵寺鳴滝乾山 窯跡	乾山銘茶碗	5	江戸時代	法蔵寺鳴滝乾山窯址調査団
	乾山銘陰刻碗	2	"	"
	銚絵柳図角皿	2	"	"
	蓋付茶碗	1	"	"
	窯壁片・窯道具 一式	"	"	"
京都大学病院構 内遺跡	乾山窯資料	6	"	京都大学埋蔵文化財研究センター
	蓮月焼資料	15	"	"
佐山遺跡	黒漆塗腰刀	3	平安時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	木製形代	3	"	"
	柿経	1	"	"
上津屋遺跡	太刀飾り	1	鎌倉～室町時代	八幡市教育委員会
	土器類	20	"	"
女谷・荒坂横穴 群	須恵器	5	古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	鉄製品	1	"	"
	金環	3	"	"
宇治市街遺跡	ミニチュア土器	5	平安～鎌倉時代	宇治市教育委員会
	土師器・瓦器	10	"	"
	軒平瓦	2	"	"
芝山遺跡	土師器	6	古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	円筒埴輪	1	"	"
	石製紡錘車	2	"	"
石橋瓦窯跡	軒瓦	5	奈良時代	井手町教育委員会
	瓦類	4	"	"
棕ノ木遺跡	弥生土器	8	弥生時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	須恵器	11	古墳時代	"
上狛西遺跡	弥生土器	8	弥生時代	山城町教育委員会
	石器類	2	"	"
恭仁宮跡	軒瓦	2	奈良時代	京都府教育委員会
	文字瓦	8	"	"

## 凡 例

1. 本パンフレットは、2003年8月15日～8月31日の第20回「小さな展覧会」の展示パンフレットである。
2. 展示資料は、(財)京都府埋蔵文化財調査研究センターおよび各機関が主として2002年度に発掘調査を行った遺跡・遺物を対象とした。
3. 展示資料中、都合により員数等が異なる場合がある。
4. 資料調査、パンフレット作成、展示資料借用にあたっては、次の機関からご指導、ご協力を受けた。  
(順不同・敬称略) 野田川町教育委員会・福知山市教育委員会・綾部市教育委員会・法蔵寺鳴滝乾山窯址調査団・京都大学埋蔵文化財研究センター・宇治市教育委員会・宇治市歴史資料館・向日市教育委員会・(財)向日市埋蔵文化財センター・長岡京市教育委員会・(財)長岡京市埋蔵文化財センター・大山崎町教育委員会・八幡市教育委員会・井手町教育委員会・山城町教育委員会・京都府教育委員会
5. 本パンフレットは、京都府立山城郷土資料館の協力のもとに作成した。

第20回小さな展覧会 発行日 2003年8月15日

編集・発行 財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 〒617-0002 向日市寺戸町南垣内40-3 TEL.075-933-3877 印刷 三星商事印刷(株)